<table>
<tr><td colspan="4">航　空　自　衛　隊　仕　様　書</td></tr>
<tr><td rowspan="2">仕様書の種類</td><td>内容による分類</td><td colspan="2">装　備　品　等　仕　様　書</td></tr>
<tr><td>性質による分類</td><td colspan="2">個　別　仕　様　書</td></tr>
<tr><td>物品番号</td><td colspan="2"></td><td>仕　様　書　番　号</td></tr>
<tr><td rowspan="6">品　名
又は
件　名</td><td rowspan="6">ブルドーザＤ７</td><td colspan="2">ＣＰＳ－Ｖ３８０３４－２８</td></tr>
<tr><td>大臣承認</td><td>平成　年　月　日</td></tr>
<tr><td>作成</td><td>昭和３８年　４月　１日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">改正</td><td>平成２０年　６月１６日</td></tr>
<tr><td>平成２１年　６月１９日</td></tr>
<tr><td>作成部隊等名</td><td>補　給　本　部</td></tr>
</table>

1　総則

1.1　適用範囲

この仕様書は，航空自衛隊における主として，建設作業に使用し，土表面の堀削，排土，整備除雪，けん引作業等を行う，履帯式トラクタの前部に排土機構を，後部にけん引装置を装備したブルドーザＤ７について規定する。

1.2　用語及び定義

この仕様書に用いる主な用語及び定義は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の1.2 及びＣ＆ＬＰＳ－Ｙ００００７の1.2 による

1.3　種類

種類は，**表１**によるものとし，調達要領指定書により指定する。

表１－種類

種類		物品番号
一般用	（ウインチ付）	2410-424-7566-5
	（無線操縦装置付）	――――――
湿地用	（ウインチ付）	2410-422-3650-5

1.4　製品の呼び方

製品の呼び方は，品名及び種類によるものとする。

例１　ブルドーザＤ７（一般用無線操縦装置付）

例２　ブルドーザＤ７（湿地用ウインチ付）

1.5　引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部をなすものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお，引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は，c)を除き，この仕様書に定める内容が優先する。

a)　**規格**

ＪＩＳ Ａ ８９１０	土工機械－転倒時保護構造－試験及び性能要求事項
ＪＩＳ Ｇ ３５２５	ワイヤロープ
ＪＩＳ Ｇ ４４０１	炭素工具鋼鋼材
ＪＩＳ Ｋ ５５７２	フタル酸樹脂エナメル
ＪＩＳ Ｋ ５６５１	アミノアルキド樹脂塗料
ＮＤＳ Ｚ ８２０１	標準色

b)　**仕様書**

Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８	車両等共通仕様書
Ｃ＆ＬＰＳ－Ｙ００００７	調達品等一般共通仕様書

c)　**法令等**

自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和４５年防衛庁訓令第１号）

2　製品に関する要求

2.1　一般的要求

一般的要求は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.1 によるほか，**自衛隊の使用する自動車に関する訓令**（以下，“**訓令**”という。）に適合するものとする。ただし，一般用（無線操縦装置付）は，次による。

a)　外囲条件（無線装置）は，次による。

1)　動作　　－１０～＋５０℃

2)　非動作　－３０～＋６０℃

b)　有人操縦及び無線操縦の両方で使用可能なものであり，切換えが容易にできるものとする。

c)　無線装置は，専門的知識，技能及び公的資格を有しない者が操作できるものとする。

d)　無線装置の耐用命数は，車両と同程度とする。

2.2　材料・部品・加工方法

材料，部品及び加工方法は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.2 による。

品　　名	ブルドーザD７

2.3　構成

構成は，次による。

a)　機関

b)　動力伝達装置

c)　足まわり装置

d)　操縦室

e)　油圧装置

f)　排土装置・排土板

g)　灯火類

h)　附属装置等

2.4　構造・形状・寸法・質量

2.4.1　構造・形状

2.4.1.1　全般

構造及び形状は，次によるほか，市販のブルドーザとし，細部は承認図面による。

なお，その他規定にない事項については，製造会社標準仕様とする。

2.4.1.2　機関

機関は，次による。

a)　形式　　４サイクル水冷ディーゼル機関

b)　総排気量　　８．０Ｌ以上

c)　定格出力　　１２８ｋW以上（標準状態において）

2.4.1.3　動力伝達装置

動力伝達装置は，トルクコンバータ（パワーシフト方式）とする。

2.4.1.4　足まわり装置

足まわり装置は，次による。

a)　懸架方式は，半硬式釣合懸架又は半硬式単一板ばね懸架とする。

b)　ローラの数は，次による。

1)　上部ローラ　片側０～２個

2)　下部ローラ　片側６～８組

c)　履帯は，**表２**によるものとし，雪上用とする場合は調達要領指定書により指定する。特に指定をしない場合は，通常用とする。

品　　名	ブルドーザＤ７

表２－履帯

区分	一般用	湿地用
通常用	組立式シングル履帯 （保護履帯装着可能な穴付）	組立式湿地用履帯
雪上用	組立式雪上用履帯 （履帯幅５１０mm以上）	組立式雪上用履帯 （履帯幅６１０mm以上）

2.4.1.5　操縦室

操縦室は，次による。

a)　一般用（ウィンチ付）は，運転席上部に分解及び組立可能な日覆い（２本又は４本柱，かつ，天井はＦＲＰ製，強化プラスチック製又は鋼製）とし，転倒時にも保護できる構造とする。

b)　一般用（無線操縦装置付）及び湿地用は，次による。

1)　鋼製運転室及び転倒時保護構造（ＪＩＳ　Ａ　８９１０）とする。

2)　エアコン（製造会社標準仕様）を備え付けるものとする。

3)　一般用（無線操縦装置付）は，**付表１**による無線操縦装置を設けるものとする。

4)　湿地用は，前面ガラス，側面ガラス及び後面ガラスは，熱線入りガラスとする。

c)　粉末消火器［粉末消火器　ＡＢＣ・１．８ｋｇ・加圧式・自動車用（消防法規格の適合品）］の取付金具を運転室内の適当な位置に取り付けるものとする。

d)　計器類は，次による。

1)　油圧計又はオイルプレッシャランプ　１個

2)　水温計　　１個

3)　アワメータ　１個

4)　電流計又はチャージランプ　１個

2.4.1.6　油圧装置

油圧装置は，次による。

a)　ポンプ形式　　歯車式又は可変容量型ピストンポンプ式

b)　吐出量　　１７５Ｌ／ｍｉｎ　以上

c)　安全弁調整圧力　　１９．６～４３ＭＰａ

d)　操作弁は，次による。

1)　形式　　スプール式

2)　操作位置　　上げ，保持，下げ及び浮きの４位置

2.4.1.7　排土装置・排土板

排土装置及び排土板は，**表３**及び**表４**によるほか，排土板，支持わく及び支持腕による構造とする。

表３－排土装置

項目	一般用	湿地用
形式	アングリングブレード (チルト可能なこと)	ストレートブレード (油圧チルト可能なこと)
質量（ｋｇ）	２１００以上	１９５０以上
操作方式	油圧装置による。	

表４－排土板

項目	一般用	湿地用
構造	ボックス型鋼板溶接組立構造両側補強板付	――――――
カッティングエッジ材質	ＪＩＳ Ｇ ４４０１のＳＫ７又は相当品以上で上下反転取付可能なものとする。	
全幅（ｍｍ）	３９００以上	
全高（ｍｍ）	９００以上	
質量（ｋｇ）	８５０以上（エッジ付）	

2.4.1.8　灯火類

灯火類は，**訓令**の保安基準によるほか，次のものを取り付けるものとする。

a)　散光式黄色回転灯（湿地用のみ）１個

b)　作業灯　１個以上

c)　計器板灯（計器内蔵の場合は除く。）１個以上

2.4.1.9　附属装置等

附属装置等は，次による。

a)　けん引用連結器は，固定式（ピン式）とする。

b)　動力取出軸は，次による。

1)　位置は，車体後方又はトルクコンバータケース後面とする。

2)　軸回転速度は，２４００ｒｐｍ以下とし，回転方向は，駆動側より見て右とする。

c)　ウインチは，次によるほか，市販品で運転席においてウインチ操作ができ，ウインチ途中停止によるけん引が可能であるものとする。

1)　型式は，単胴平歯車駆動式，正逆転及び制動装置付とする。

2)　径×長さ（ｍｍ）は，φ２０以上×６０以上とする。

3)　ケーブルは，ＪＩＳ Ｇ ３５２５のワイヤーロープ７×７＋６×Ｆｉ（２５）普通Ｚより，Ｂ種，裸，２０ｍｍ又は相当品以上とする。

4)　ケーブル先端はシンブル付とし，シャックルを取り付けるものとする。

2.4.1.10　その他

寒冷地仕様（製造会社標準）とする場合は，調達要領指定書で指定する。

2.4.2　寸法

寸法は，**表５**による。

表５－寸法　　**単位**　ｍｍ

項目		一般用	湿地用
全長	トラクタ単体	最小３２５５	
	排土板付	最小４９００	
全幅	排土板付	最小３９００	
全高	排気管上端まで	最大３２５５	
	着脱可能な突起物を除く	最大３１００	
	鋼製運転室装着の場合	最大３４００	
履帯中心距離		最小１８６５	
接地長		最小２３００	
最低地上高		３００以上 （履帯突起を除く）	３６５以上 （履帯先端から）

2.4.3　質量

質量は，次による。

a)　車両総質量（トラクタ単体）　　最小１１５００ｋｇ

b)　車両総質量（油圧装置及び排土装置付）　最小１４０００ｋｇ

2.5　外観

外観は，次による。

a)　有害な傷，割れ，まくれ，その他の欠陥があってはならない。

b)　各部の塗装及びめっきにむらがあってはならない。

c)　塗装は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.3 によるものとし，次によるほか，細部は承認図面による。

1)　一般用は，車体外部はＪＩＳ　Ｋ　５５７２の半つや外部用又はＪＩＳ　Ｋ　５６５１の半つや外部用（それぞれの同等品を含む。）で，ＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号２３１４　ＯＤ色により塗装する。

2)　湿地用は，車体外部はＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号１３０７　山吹色（２）２．５Ｙ８／１２により塗装する。

2.6　性能

性能は，**付表２**による。

2.7　製品の表示

製品の表示は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.4 によるほか，細部は承認図面による。

3　監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

4　出荷条件

出荷条件は，商慣習による。

5　その他の指示

5.1　提出書類等

提出書類等は，次による。

a)　類別原資料は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｙ００００７の4.1.1 による。

b)　取扱説明書は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.2 による。

c)　車両法適用除外指定申出関連書類は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.3 による。

d)　完成写真等は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.5 による。

e)　車両等主要諸元資料は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.6 による。

5.2　自動車検査証・車歴簿

自動車検査証及び車歴簿は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.3 及び5.5 による。

5.3　附属品・予備品

附属品及び予備品は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.6 によるほか，次による。

a)　給油表　２部

b)　粉末消火器ＡＢＣ・１．８ｋｇ・加圧式・自動車用（消防法規格の適合品）　１個

5.4　承認用図面・色見本

契約相手方は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｙ００００７の4.3 により，次の承認用図面及び色見本を作成のうえ，提出し，承認を受けるものとする。

a)　**承認用図面**　承認用図面は，次による。

1)　外形図（寸法及び質量を含む）

2)　塗装配置図

3)　航空自衛隊標識図

4)　銘板

5)　その他必要な図面

b)　**色見本**　車体外部

5.5　装備品等不具合報告（ＵＲ）対策

装備品等不具合報告（ＵＲ）対策は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００７の4.4 による。

付表１－無線操縦装置

項目				規定
無線操縦による操作内容	エンジン始動・停止（非常停止含む。）			スイッチ式
	スロットル調整			低速，中速，高速及び無段階式
	変速機操作			前，後進各２速又は３速
	ブレード操作			上げ，保持，下げ，浮き
	緊急停止			受信機電源遮断（手動復帰式）
無線装置	送信機	形式		肩掛携帯式，防じん，防滴構造
		制御有効距離		１００ｍ（好条件において送受信アンテナ間）
		質量		最大３kg（本体部のみ）
		送信周波数		４２９．２５０～４２９．７３７５MHｚの１波
		変調方式		ＦＳＫ－ＦＭ又はＭＳＫ－ＦＭ変調方式
		送信出力		０．０１W以下
		電源	電池	ニッケルカドミウム電池又はニッケル水素
			連続使用時間	６時間以上
			充電方式	付属充電器による
	受信機	形式		耐震，防じん，防滴構造
		質量		最大３０ｋｇ
		受信方式		スーパーヘテロダイン方式
		受信感度		６dBμ以下
		電源		車両搭載蓄電池使用
	安全機能	誤操作防止機能		電波到達範囲外における車両自動停止（操作レバーが手から離れた場合）
				有人及び無線による同時操縦できないこと
		故障発生時の安全機能		操縦者転倒時及び送信機落下時の車両自動停止
				雑音及び妨害電波があるときの車両自動停止
				送信機故障発生時の車両自動停止
				電気系統故障発生時（ブルドーザ本体）の車両自動停止
		故障発生時の警報機能（異常等を赤色灯の点灯等により，車両の外部から確認できる機能）		無線操縦用制御圧（油圧，空気圧方式の場合のみ。）及びエンジン油圧の異常低下時
				エンジン水温，トルコン油圧，受信機室温の異常上昇時

付表２－性能

項目				一般用		湿地用
				（ウインチ付）	（無線操縦装置付）	（ウインチ付）
走行性能	走行速度	前進	１速（km／h）	３以上		
			２速（km／h）	６以上		
			３速（km／h）	８以上	８以上[a)]	８以上
		後進	１速（km／h）	４以上		
			２速（km／h）	７以上		
			３速（km／h）	１０以上	１０以上[a)]	１０以上
	最小回転半径(mm)			４５００以下（その場旋回可能，履帯外側とする。）		
	登坂能力			３０° 以上（計算値）		
	けん引力 (kN)			１４５以上		
排土板性能	揚御量上昇 (mm)			最小８００		
	揚御量下降 (mm)			最小４００		
	チルト量 (mm)			最小２８０		
	アングル角			左右各２３° 以上		―――
ウインチ性能	引張能力 (kN)			１４７以上（能力は，計算値によることができる。）		
	その他			ワイヤーケーブルの巻き上げ速度は，製造会社の標準速度とする。		

注[a)] 一般用（無線操縦装置付）の前・後進の３速については，３速を備えた場合のみとする。